

平成 2 0 年 度

事 業 報 告 書

社団法人 千島齒舞諸島居住者連盟

事業報告書

平成20年度事業計画に基づき次のとおり事業を実施したので、その概要を報告する。

1 北方領土返還要求運動の推進

北方領土返還要求運動の推進を図るため、関係機関及び団体との連携の下に次の事業を行った。

(1) 北方領土返還要求署名活動の推進

北方領土の返還に向けた国民世論の結集を図るため、関係機関及び団体との連携の下に北方領土返還要求署名活動を行った。

ア 北方領土返還要求署名運動推進北海道連絡会議の開催

開催期日	場所	参加団体	参加人員
6月27日(金)	KKRホテル札幌	日本労働組合総連合会 北海道連合会ほか6団体	8人

イ 北方領土返還要求署名活動の実施

平成20年度署名者数	平成20年度末累積署名者数	摘 要
1,011,892人	81,171,093人	第60回さっぽろ雪まつり 署名者数(2月5日～11日) 37,542人

(2) 北方領土返還に関する中央要請及び国会請願の実施

北方領土の早期返還の実現を期し、政府に対し要請を行うとともに、衆・参両議院に請願を行った。

要請・請願期日	要 請 ・ 請 願 先	場 所	摘 要
4月24日(木)	内閣総理大臣 福田 康夫 内閣府特命担当大臣 岸田 文雄 外務大臣政務官 宇野 治 国土交通大臣政務官 山本 順三	総理大臣官邸	国会請願に併せての要請
4月24日(木)	衆議院議長 河野 洋平 出席議員 衆議院外務委員会 委員長 平沢 勝栄 ほか 衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員長 藤村 修 ほか	衆議院第2議員会館	〈紹介議員〉 石崎 岳 松木 謙公 丸谷 佳織 赤嶺 政賢 照屋 寛徳

要請・請願期日	要 請 ・ 請 願 先	場 所	摘 要
4月24日(木)	参議院議長 出席議員 参議院外交・防衛委員会 委員長 北澤 俊美 ほか 参議院沖縄及び北方問題に関する 特別委員会 委員長 市川 一朗 ほか	参議院議員会館	〈紹介議員〉 小林 正夫 伊達 忠一 渡辺 孝男 紙 智子 山内 徳信

(3) 北方領土返還要求運動への参画

関係機関及び団体が実施する北方領土返還要求運動に参画した。

開催期日	行 事 名 等	場 所
4月21日	2008北方領土返還要求北海道・東北国民大会	札幌市・道新ホール
6月29日	北方領土返還要求根室市民大会	根室市・北方四島交流センター
7月26日	北方領土開拓者顕彰「高田屋嘉兵衛まつり」	函館市・高田屋嘉兵衛銅像前
8月24日	第27回北方領土ノサップ岬マラソン大会	根室市・ノサップ岬
9月14日	第4回北方領土まで歩こう会	根室市・ノサップ岬
9月21日	連合「2008平和行動イン根室」	根室市・ノサップ岬
9月26日	2008外交シンポジウム	札幌市・京王プラザホテル
10月6日	北太平洋国際フォーラム	札幌市・ガーデンパレス
10月8日	北方領土復帰祈願祭	札幌市・北海道神宮
10月24日	北方領土教育研究セミナー	苫前町立・苫前中学校
11月13日	第27回北方領土返還要求山形県民大会	新庄市・最上広域交流セミナー
11月20日 ～23日	第45回2008ひょうご北方領土展	神戸市・神戸駅地下街
12月1日	北方領土返還要求行進アピール行動	東京都・アジュール竹芝
1月23日	北方領土返還要求静岡県民大会	静岡県・御前崎市文化会館
1月24日	第23回「北方領土を考える」高校生弁論大会	札幌市・教育文化会館
1月28日	北方領土の返還を求める都民大会	東京都・アジュール竹芝
2月5日	北方領土返還要求運動鳥取県民大会	鳥取市・ウエルシティ鳥取
2月5日 ～11日	第60回さっぽろ雪まつり北方領土返還要求署名	札幌市・大通西6丁目特設署名コーナー

開催期日	行 事 名 等	場 所
2月6日	2009「北方領土の日」祈念大阪府民大会	大 阪 市・大阪中央公会堂
2月7日	2009北方領土フェスティバル	札 幌 市・大通西4丁目 特設ステージ
2月7日	平成21年北方領土返還要求全国大会	東 京 都・九 段 会 館
2月7日	2009「北方領土の日」根室管内住民大会	根 室 市・総合文化会館
2月10日	北方領土返還要求茨城県民大会	つくば市・ふれあいプラザ

(4) 元島民、後継者の海外使節団への派遣

北方領土問題に対する国外の理解促進を図るため、海外使節団の一員として元島民、後継者の派遣を行った。

派 遣 者	萬 屋 努 (元島民)、高 橋 洋 一 (後継者)
派 遣 地	ロシア連邦 (モスクワ、サンクトペテルブルグ)
派 遣 期 間	10月19日～24日 (6日間)

(5) 「元島民による北方領土を語る会」への派遣

北方領土問題に対する理解促進のため、日本外務省がロシア政府、ロシア議会、マスコミ関係者等を対象にモスクワで開催した「元島民による北方領土を語る会」に元島民を派遣した。

派 遣 者	小 泉 敏 夫、萬 屋 努
派 遣 地	ロシア連邦 (モスクワ)
派 遣 期 間	3月23日～3月25日 (3日間)

(6) 北方領土返還運動推進功労者の表彰

北方領土返還運動の推進、連盟の組織強化及び事業の推進に顕著な功績のあった者に対する表彰を行った。

区 分	被 表 彰 者
内閣府特命担当大臣による表彰	萬 屋 努 (中標津支部) 大 塚 誠之助 (道央支部)
千島連盟理事長による表彰	宮 下 健四郎 (道央支部) 樋 木 宏 光 (中標津支部) 昆 和 雄 (函館支部) 平 藤 實 (羅臼支部) 鈴 木 健二郎 (十勝支部) 能 沢 直 義 (羅臼支部) 西 村 睦 雄 (十勝支部) 松 原 勇 (富山支部) 高 橋 孝 志 (根室支部) 木 野 本 繁 (富山支部) 宮 下 利 明 (根室支部) 石 川 重 幸 (富山支部) 竹 原 栄 作 (根室支部)

2 元居住者の援護対策の推進

元居住者の援護対策の推進を図るため、次の事業を行った。

(1) 援護問題等専門委員会の開催

元居住者等の援護問題について幅広く研究討議を行うため、援護問題等専門委員会を開催した。

開催期日	開催場所	出席者	協議事項及び協議結果
第 1 回 8月20日(水)	KKRホテル札幌 (札幌市)	4名	<p>〈協議事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土における権利と補償を巡る諸問題について <p>〈協議結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去に亡くなった人、今生きている人に対する具体的な補償を求めながら、国民全体に補償を説明し理解を求める方法を考える必要がある。
第 2 回 12月16日(火)	ホテル札幌 ガーデンパレス (札幌市)	5名	<p>〈協議事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方四島渡航に使用する新造船について ・「戦後処理問題懇談会」の概要について ・「財産権の不行使に対する補償」の取り組みについて <p>〈協議結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当委員会として、千島連盟は北方四島渡航に使用する新造船の運航事業には関わらないことで一致。 ・「財産権の不行使に対する補償」については、委員会の意見の案を作成し、次回の委員会で議論を深めることで一致。
第 3 回 3月26日(木)	KKRホテル札幌 (札幌市)	6名	<p>〈協議事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度国等への要望事項について ・「財産権の不行使に対する補償」への取り組みについて <p>〈協議結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者の育成強化に関する要望についての支援措置を新たに2項目にして詳細に説明することを了承。 ・「財産権の不行使に対する補償」についてその実現に向けた効果的な取り組みの具申(案)を検討。

(2) 元居住者の援護に関する指導・助言

元居住者の援護対策として設けられている北対協融資制度の利用及び在島残置財産である土地、建物の相続手続き等に関し、指導、助言等を行った。

(3) 元居住者の援護対策に関する政府及び国会への要請

総会決議等に基づき、政府及び国会に対し要請を行うとともに、関係省庁との協議を行った。

要 望 事 項	要 望 内 容
北方四島渡航のための新造船の早期就航について	自由訪問など北方四島渡航に使用する専用船舶については、高齢化している元居住者の現状に鑑み、早期に新造船の就航を図ること。
財産権の不行使に対する補償について	北方領土に残してきた財産については、63年に亘り財産権を行使することができない状況に置かれていることに鑑み、不動産に係る所有権及び賃借権の不行使に対する損失について、早急に元居住者の要望に沿った直接的補償措置を講ずること。
北方地域旧漁業権に対する補償について	北方地域の旧漁業権に対する補償については、北方地域漁業権補償推進委員会が補償措置を要望しているが、元居住者の多くが旧漁業権者であること、また、逐年高齢化が進行していることに鑑み、早急に補償措置を講ずること。
残置不動産の保護等について	元居住者の残置不動産の現況を把握し、保全措置を講ずること。 また、北方領土の返還を踏まえ、国としての残置不動産の処理方策を示すこと。

3 組織基盤の強化と地域活動の推進

連盟における組織基盤の強化と地域活動の推進を図るため、次の事業を行った。

(1) 北方領土問題トップセミナーの開催

北方領土問題に関する情報提供等を行うため、理事を対象とするセミナーを開催した。

開 催 期 日	開 催 場 所	出 席 者	内 容
4月30日(水)	KKRホテル札幌 (札幌市)	26名	①講 演 演題：北海道における北方領土対策の視点 講師：北海道総務部北方領土対策本部長 水口博史氏 ②質疑等

(2) 組織強化と未加入者の加入促進

連盟組織の維持向上を図るため、各支部及び「島民の会」との連携の下に未加入となっている元居住者及び後継者の会員への加入促進を行った。

平成20年度新規加入者数	左 の 内 訳		備 考
	元居住者	後継者	
119人	35人	84人	会員数の状況は巻末資料参照

(3) 支部活動の推進

地域における北方領土返還運動及び元居住者の援護対策等を円滑に進めるため、各支部における地域活動の推進を行った。

支部総会の開催状況

支部名	開催期日	開催場所	出席者数
道央支部	20・4・12	札幌市 KKRホテル札幌	64名
釧路支部	20・4・19	釧路市 交流プラザさいわい	62名
根室支部	20・4・20	根室市 千島会館	120名
羅臼支部	20・4・21	羅臼町 羅臼町公民館	29名
函館支部	20・4・27	函館市 湯の浜ホテル	28名
中標津支部	20・5・8	中標津町 寿宴	48名
道北支部	20・5・27	旭川市 旭川ターミナルホテル	15名
別海町支部	20・6・15	別海町 シーサイドホテル	28名
富山支部	20・6・21	黒部市 生地第1温泉	45名
標津支部	20・6・25	標津町 生涯学習センターあすばる	22名
十勝支部	20・6・29	帯広市 森の里コミュニティーセンター	23名
関東支部	21・2・7	東京都 九段会館	51名
浜中支部	21・3・5	弟子屈町 ホテル湯の閣	19名
厚岸支部	21・3・7	厚岸町 金万ホテル	12名
網走管内支部	21・3・8	網走市 網走観光ホテル	24名

(4) 島民組織活動の推進

島民組織の活動促進を図るとともに相互の連携を深めるため、島民組織代表者会議を開催した。

開催期日	開催場所	議題
10月9日(木)	千島会館 (根室市)	①平成20年度における主要事業の実施状況及び実施予定について ②平成21年度自由訪問事業の実実施計画について ③北方四島居住地図作成について ④その他

(5) 連盟創立50周年記念事業の実施

本連盟が本年度で創立50周年を迎えることから、連盟の一層の発展を期して連盟創立50周年記念事業を実施した。

ア 記念式典・後継者育成セミナー

開催期日	開催場所	出席者	議題
5月26日(月)	ホテル札幌 ガーデンパレス (札幌市)	203名	①記念式典 ②後継者育成セミナー 演題：ロシアの新体制の発足と北方領土問題 講師：前東京経済大学教授 兵藤長雄氏

イ 「千島連盟50年のあゆみ～元島民による北方領土返還運動～」の発刊

千島連盟創立以来、北方領土返還運動に中心に取り組んできた元居住者とその後継者の50年のあゆみを後世に伝承する啓発資料として発刊した。

規 格	A4版
頁 数	96頁（オールカラー）
作成部数	700部
配 付 先	各関係機関、団体等

(6) 通常総会等の開催

連盟業務の適切且つ円滑な運営を図るため、通常総会及び理事会等を開催した。

ア 通常総会の開催

開 催 期 日	開 催 場 所	出席者	議 題
5月26日(月)	ホテル札幌 ガーデンパレス (札幌市)	135名	①平成19年度事業報告及び平成19年度決算について ②平成20年度事業計画及び平成20年度予算について ③定款の一部変更について ④宣言及び決議について

イ 理事会の開催

開 催 期 日	開 催 場 所	出席者	議 題
第 1 回 5月1日(木)	KKRホテル札幌 (札幌市)	26名	①平成20年度通常総会の進行次第について ②平成20年度通常総会の提出議案(議案書)について ③平成19年度事業報告及び平成19年度決算について ④平成20年度事業計画及び平成20年度予算について ⑤定款の一部変更について ⑥宣言及び決議について ⑦千島連盟理事長表彰について ⑧顧問の委嘱について ⑨その他
第 2 回 2月24日(火)	ホテル札幌 ガーデンパレス (札幌市)	21名	①千島連盟諸規程の制定及び一部改正について

ウ 監事監査の実施

実施期日	実施場所	実施監事	監査対象
第 1 回 4月14日(月)	千島会館	工藤 久男 岡田 省一	平成19年度千島会館の財産・会計の状況及び業務執行の状況
第 2 回 5月9日(金)	連盟事務局	工藤 久男 岡田 省一	平成19年度千島連盟(千島会館を除く)の財産・会計の状況及び業務執行の状況

エ 業務運営委員会の開催

開催期日	開催場所	出席者	議 題
第 1 回 8月8日(木)	ホテル札幌 ガーデンパレス (札幌市)	7名	①創立50周年記念事業について ②北方四島渡航に使用する新造船について ③北方四島住民支援事業について ④北方四島居住地図の作成について ⑤洞爺湖サミットにおける日露首脳会談について ⑥中央要請について ⑦その他
第 2 回 11月19日(金)	KKRホテル札幌 (札幌市)	6名	①北方四島住民支援事業について ②平成21年度自由訪問事業計画について ③北方四島居住地図の作成について ④北方四島返還運動のあゆみ(仮称)の発刊について ⑤北方四島渡航に使用する新造船について ⑥平成21年度予算要求の概要について ⑦公益法人制度改正の概要について ⑧その他
第 3 回 3月18日(水)	ホテル札幌 ガーデンパレス (札幌市)	7名	①北方四島居住地図の作成について ②「千島連盟50年のあゆみ」の発刊について ③「元島民による北方領土を語る会」への派遣について ④平成21年度国費及び道費予算(案)について ⑤表彰について ⑥事務局体制について ⑦その他

4 後継者の育成と組織活動の推進

今後の返還運動の担い手となるべき後継者の育成を図るため、次の事業を行った。

(1) 後継者育成推進員の配置

後継者の育成及び組織活動等に資するため、函館、網走管内、釧路、別海町、中標津、標津、及び羅臼の各支部に「後継者育成推進員」（通称「推進員」）を配置し、各種の後継者対策等の推進を行った。

(2) 後継者キャラバン事業の実施

根室管内青年部連絡協議会（青連協）の会員を中心に、青年部未組織支部の後継者を交えたキャラバン隊を編成し、道内主要都市を訪問し、署名活動等を通して、青年部の組織化・活性化の推進を図るとともに、「北方領土返還要求北海道・東北国民大会」で高橋知事に領土返還運動に取り組む決意を表明した。

派遣期間	4月18日（金）～21日（月） 4日間	
派遣隊員数	第1班 18名	第2班 12名
派遣先	根室市、別海町、釧路市、網走市、北見市、帯広市、旭川市、深川市、留萌市、札幌市	根室市、函館市、八雲町、室蘭市、苫小牧市、千歳市、恵庭市、札幌市

(3) 後継者活動促進全国会議・セミナーの開催

北方領土問題及び北方領土返還運動に対する後継者の理解と認識を深めるとともに、後継者間の連携強化を図るため、全国会議・セミナーを開催した。

開催期日	開催場所	出席者	内容
10月18日（土） ～19日（日）	ホテル札幌 ガーデンパレス （札幌市）	27名	①講演 演題：国際情勢と今後の課題 講師：産経新聞社取締役 東京編集局長 齊藤 勉氏 ②全体討議及び分科会討議 テーマ「長いスパンで返還運動をしたら」 「第二の後継者育成」 ③元島民後継者対策事業等についての説明 内閣府北方対策本部 山本参事官 ④その他

(4) 北方領土問題現地青年の集いの開催

今後の北方領土返還運動の担い手となるべき後継者及びリーダーの育成を図るため、現地青年の集いを開催した。

開催期日	開催場所	出席者	内 容
2月21日(土)	ホテル峰の湯 (羅白町)	16名	意見交換 テーマ「後継者活動の現状と今後の後継者の返還運動について」

(5) 後継者育成研修会等の開催

後継者の育成と地域活動の促進を図るため、研修会及び学習会を開催した。

ア 指導者養成研修会

開催期日	開催場所	出席者	内 容
5月27日(火)	ホテル札幌 ガーデンパレス (札幌市)	27名	①後継者育成対策の推進 ②組織基盤の強化と地域活動の推進 ③北方領土返還要求署名活動の推進 ④その他

イ 北方領土問題学習会

主管支部	開催期日	開催場所	出席者	講 師
釧路支部	10月26日(日)	アクア・パール(釧路市)	55名	田村専務理事
根室支部	12月12日(金)	千島会館(根室市)	50名	外務省ロシア課長補佐 小野 健氏

ウ 後継者研修会

開催期日	開催場所	出席者	内 容
2月8日(日) ～9日(月)	KKRホテル札幌(札幌市)	28名	①意見交換 ②北方領土返還要求署名活動 (大通特設署名コーナー)

(6) 後継者等の語り部育成事業の実施

元居住者の思いを受け継ぎ、若年層に対し北方領土問題等への関心を深めるため、後継者の「語り部」の育成事業を行った。

主管支部	実施期日	実施場所	出席者	講 師
富山支部	11月13日(木)	(公開講座) 黒部市立高志野中学校	後継者 2名 中学生 95名	吉田富山支部長 他 5名
		(講習会) 黒部市コミュニティセンター	元島民及び 後継者 12名	鶴羽佳子氏 (フリーアナウンサー)

主管支部	実施期日	実施場所	出席者	講師
函館支部	11月25日(火)	(公開講座) サン・リフレ函館	函館市町内会 連合会等 12名 元島民及び 後継者 10名	山本函館支部長
		(講習会) サン・リフレ函館	元島民及び 後継者 7名	鶴羽佳子氏 (フリーアナウンサー)
本部	1月15日(水)	(レベルアップ講習) 別海町交流館ぶらと	後継者 11名	鶴羽佳子氏 (フリーアナウンサー)

(7) 北方領土青少年洋上セミナーの実施

根室管内青年部連絡協議会(青連協)が主体となり、若年層に対する北方領土問題の啓発を図るため、根室管内の青少年等を対象に北方領土の歴史や現状等を学習する洋上セミナーを実施した。

実施期日	開催場所	参加者	内容
9月7日(日)	羅臼港～知床岬～羅臼港 チャーター船3隻船上	○根室管内在住の 青少年及び教諭 ○北方領土研究を 専攻している学 生及び指導者 80名	①元島民による語り部 ②ピザなし対話集会の記録 紹介 ③北方領土学習クイズほか

5 「北方領土の語り部」の登録及び派遣

北方領土問題への関心と北方領土返還運動に対する意識の高揚を図るため、予め登録した「北方領土の語り部」を次のとおり関係機関及び団体等が実施する研修会、学習会等に派遣した。

登録者数			派遣者数
元島民	後継者	計	
43名	26名	69名	41名

6 北方領土関連資料等の収集保存及び啓発資料の作成

北方領土関連資料等の収集を行うとともに、北方領土がわが国固有の領土であることを証左する資料とし、併せて北方四島訪問の基礎資料とするため、次のとおり北方四島の居住地図を作成した。

資料名	規格	作成部数	主な配付先
北方四島居住地図 (歯舞群島・色丹島)	A3判	150部	理事、支部、島民の会、関係機関・団体、施設

7 会員に対する情報の提供

会員等に対する情報提供を行い、北方領土返還運動の推進を図るため、次のとおり広報紙を発行した。

広 報 紙 名	発 行 部 数	主 な 配 付 先
「返せわれらが故郷」 213号 20. 6. 30 214号 20. 9. 30 215号 21. 1. 1	5,000部 5,000部 5,000部	会員及び関係機関・団体

8 北方四島住民に対する支援事業（未完了）

四島側からの要請に基づく支援物資を供与すべく国後島を訪問した際、上陸に当たって従来
の手続きに加え「出入国カード」の提出を要求されたため、上陸を断念し本年度の支援事業に
係る物資の供与を中止した。

9 自由訪問事業の実施

人道的観点及び領土問題解決の環境整備のため、元島民とその家族による北方四島への自由
訪問事業を次のとおり実施した。

区 分	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
訪 問 地	国後島 オタトミ 古丹消 ハッチャス	択捉島 留別 ポンヤリ	歯舞群島 志発島 カフェノツ	国後島 東沸 中ノ古丹
期 間	5.20～5.23	7.8～7.11	7.25～7.28	8.29～9.1
参 加 者	元島民等 33名 同行者 10名 計 43名	元島民等 30名 同行者 11名 計 41名	元島民等 45名 同行者 16名 計 61名	元島民等 45名 同行者 11名 計 56名
使用船舶	民間借上船 ロサ・ルゴサ	民間借上船 ロサ・ルゴサ	民間借上船 ロサ・ルゴサ	民間借上船 ロサ・ルゴサ
備 考	悪天候のため古丹消 のみ上陸			

10 北方領土墓参への参加

人道的観点から北海道が実施している北方領土墓参に次のとおり参加し、祖先や肉親の慰霊を行った。

区 分	第 1 班	第 2 班	第 3 班	第 4 班
墓 地	色丹島 斜古丹 稲茂尻	択捉島 薬取 シヤスリ	歯舞群島 水晶島 秋味場 秋勇留島 オタモイ 勇留島 トコマ	国後島 プニ ニキシロ
期 間	7. 22～7. 24	7. 28～7. 31	8. 20～8. 22	8. 25～8. 27
使用船舶	道漁業取締船 北王丸	道漁業取締船 北王丸	北大練習船 おしよろ丸	道教委実習船 若竹丸
参 加 者	遺 族 19名 同行者 10名 計 29名	遺 族 30名 同行者 10名 計 40名	遺 族 30名 同行者 15名 計 45名	遺 族 25名 同行者 10名 計 35名
備 考				

11 北方四島交流事業（訪問）への参加

北方領土問題解決に向けた環境づくりのため、「北方四島交流北海道推進委員会」及び「北方領土問題対策協会」が実施する北方四島交流（訪問）事業に次のとおり参加した。

実施主体	期 間	参 加 者		訪 問 先	備 考
		(名)	うち元島民等		
道推進委	5. 16～ 5. 19	64	13	国後島	教育関係者・青少年 後継者 後継者
	5. 30～ 6. 2	65	15	択捉島	
	8. 8～ 8. 11	64	—	色丹島	
	9. 12～ 9. 15	19	10	国後島	
	9. 12～ 9. 15	44	7	択捉島	
小 計	5回	256	45	—	—
北 対 協	6. 30～ 7. 4	63	5	国後島・択捉島	北連協 教育関係者・青少年 県民会議 後継者
	8. 1～ 8. 4	62	—	国後島	
	8. 21～ 8. 25	63	5	色丹島・択捉島	
	9. 19～ 9. 22	48	2	色丹島	
小 計	4回	236	12	—	—
合 計	9回	492	57	—	—

12 政府及び国会への要請

北方領土の早期返還及び元居住者の援護対策の推進等を図るため、次のとおり政府及び国会に対し要請を行った。

要請期日	主 要 請 事 項	要 請 先	要 請 者
6月30日 (根室市)	○北方領土の早期一括返還について ○新造船の早期就航について ○元居住者の権益の保護について ○自由訪問事業の充実について	武部自民党北海道 第7選挙区支部長	鈴木副理事長 河田根室支部長
8月18日 (根室市)	○北方領土の早期一括返還について ○北方四島渡航に使用する新造船の早期 就航について ○財産権の不行使に対する補償について ○後継者の育成強化について	林内閣府特命担当 大臣	小泉理事長 鈴木副理事長 萬屋副理事長 田村専務理事 河田根室支部長 白田別海町支部長 岩田中標津支部長 木下標津副支部長 野口羅白支部長 野潟青連協会長
8月26日 ～28日 (東京都)	○自由訪問事業の訪問回数増等について ○領土返還交渉の加速について ○北方四島渡航に使用する新造船の早期 就航について ○財産権の不行使に対する損失補償につ いて ○後継者の育成強化について	高村外務大臣 林内閣府特命担当 大臣 宮腰自民党内閣部会 領土に関する小委員 会委員長 ほか	小泉理事長 鈴木副理事長 萬屋副理事長 田村専務理事
11月22日 (根室市)	○北方領土の早期一括返還について ○北方四島渡航に使用する新造船の早期 就航について ○財産権の不行使に対する補償について ○後継者の育成強化について	佐藤内閣府特命担当 大臣	小泉理事長 鈴木副理事長 萬屋副理事長 河田根室支部長 白田別海町支部長 樋木中標津副支部長 森標津支部長 野口羅白支部長 米屋青連協副会長
12月 1日 (東京都)	○北方領土の早期一括返還について ○北方四島渡航に使用する新造船の早期 就航について ○北方領土墓参の円滑な実施について ○財産権の不行使に対する補償について ○自由訪問事業の訪問回数増等について	佐藤内閣府特命担当 大臣 中曽根外務大臣 橋本外務副大臣 宮腰衆議院議員 中川参議院議員	小泉理事長 鈴木副理事長 萬屋副理事長 田村専務理事

要請期日	主 要 請 事 項	要 請 先	要 請 者
2月3日 (札幌市)	○北方四島住民支援事業の中止について	高橋北海道知事	小泉理事長 鈴木副理事長 萬屋副理事長 田村専務理事
2月5日 (東京都)	○対露領土交渉の推進について ○北方四島交流事業の円滑な実施について	橋本外務副大臣 松本内閣官房副長官	小泉理事長
2月16日 (根室市)	○北方四島住民支援事業の円滑な実施について ○北方領土の早期一括返還について ○財産権の不行使に対する補償について ○後継者の育成強化について	市川参議院沖・北委員会委員長 ほか	小泉理事長 鈴木副理事長 萬屋副理事長 河田根室支部長 白田別海町支部長 岩田中標津支部長 木下標津副支部長 野口羅臼支部長 野潟青連協会長
2月24日 (東京都)	○北方領土問題等解決の促進のための特別措置に関する法律の改正について	宮腰自民党内閣部会 領土に関する小委員会 委員長 ほか	萬屋副理事長

13 千島会館の運営管理

北方領土問題に関する啓発・研修施設及び元居住者等の援護・組織活動の拠点施設として千島会館の供用を図るとともに、千島会館運営委員会を開催した。

(1) 千島会館の利用状況

利 用 回 数			利 用 人 数
返還運動関係者	そ の 他	計	
145回	14回	159回	2,619人

(2)千島会館運営委員会の開催

開催期日	開催場所	出席者	内容
6月26日(木)	千島会館 (根室市)	6名	①平成19年度利用状況について ②平成19年度夜間使用状況について ③平成19年度運営管理費決算について ④平成20年度運営管理費予算について ⑤その他
8月6日(水)	千島会館 (根室市)	5名	①千島会館の利用について ②千島会館の運営管理費について ③その他

14 役員の異動

○死亡による退任

理事 鈴木 健二郎 (平成20年12月15日逝去)

理事 山本 知己 (平成21年 2月14日逝去)

<資 料>

(社)千島齒舞諸島居住者連盟の会員数

平成21年3月31日現在

支 部 名	元島民数 21.3.31現在	平成20年度 正会員数	左 の 内 訳				賛助会員		会員合計	
			新 規 会 員		継 続 会 員		団体	個人		
			元島民	後継者	元島民	後継者				
道 央	1,060 (55)	583 (13)	5 (2)	10	393 (11)	175	0	22	605 (13)	
函 館	304 (11)	121 (1)	0 (0)	1	95 (1)	25	0	1	122 (1)	
道 北	267 (6)	105 (1)	1 (0)	1	74 (1)	29	0	0	105 (1)	
網 走	339 (6)	178 (4)	1 (0)	6	120 (4)	51	0	0	178 (4)	
十 勝	257 (8)	104 (2)	2 (0)	3	81 (2)	18	0	0	104 (2)	
釧 路	983 (46)	273 (6)	4 (0)	2	212 (6)	55	0	2	275 (6)	
厚 岸	80 (1)	75 (0)	0 (0)	2	50 (0)	23	0	0	75 (0)	
浜 中	63 (5)	64 (2)	1 (0)	1	42 (2)	20	0	0	64 (2)	
根 室	1,706 (64)	922 (11)	14 (0)	23	602 (11)	283	4	20	946 (11)	
別海町	179 (8)	189 (4)	0 (0)	3	111 (4)	75	2	1	192 (4)	
中標津	150 (8)	161 (2)	1 (0)	4	84 (2)	72	5	12	178 (2)	
標 津	96 (5)	98 (3)	0 (0)	1	51 (3)	46	0	1	99 (3)	
羅 白	152 (7)	125 (3)	0 (0)	3	49 (3)	73	2	0	127 (3)	
関 東	767 (64)	418 (9)	3 (0)	11	244 (9)	160	0	2	420 (9)	
富 山	626 (5)	397 (2)	0 (0)	5	251 (2)	141	1	3	401 (2)	
支 部 以 外	道内	346 (10)	112 (1)	0 (0)	1	91 (1)	20	1	6	119 (1)
	道外	660 (34)	296 (11)	3 (2)	7	181 (9)	105	0	5	301 (11)
合 計	8,035 (343)	4,221 (75)	35 (4)	84	2,731 (71)	1,371	15	75	4,311 (75)	

※元島民数及び正会員数の()は、平成20年4月1日施行の旧漁業権者法の一部改正に伴う新元居住者の内数